

# AX5400S

ALAXALA マルチレイヤスイッチ AX5400S  
クイックスタートガイド 訂正資料

■はじめに

本資料は、AX5400Sクイックスタートガイド (Copyright (C) 2005 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.)の訂正内容について説明するものです。

本装置をご使用になる時は、この資料を必ずお読みください。

本資料の対象となるマニュアルを以下に示します。

項番	マニュアル名称	マニュアル番号
1	ALAXALAマルチレイヤスイッチAX5400S クイックスタートガイド	QSGAX54S00-20

■商標一覧

- ・ Ethernetは米国Xerox Corp.の商品名称です。
- ・ イーサネットは富士ゼロックス (株) の商標です。
- ・ Windowsは米国Microsoft, Corp.の商標です。
- ・ その他, 各会社名, 各製品名は, 各社の商標または登録商標です。

■ご注意

この訂正資料は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■発行

2006年6月20日発行(初版)

■著作権

Copyright (C) 2006 ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.

## 目 次

安全にお取り扱いいただくために.....	4
2 準備.....	5
3 機器の設置.....	8

## 安全にお取り扱いいただくために

電源ケーブル取り扱いに関する警告を下記に訂正します。(P11)

### 【訂正】



#### ■電源ケーブルを大切にしてください。

- 電源ケーブルの上に重いものを乗せたり、引っ張ったり、折り曲げたり、加工したりしないでください。電源ケーブルが傷ついて、火災・感電の原因となります。ケーブルの上を敷きものなどでおおうことにより、それに気づかないで重い物を乗せてしまい、電源ケーブルを傷つけてしまうことがあります。
- 電源ケーブルは付属または指定のものを使用してください。上記以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。また、付属の電源ケーブルを本製品以外で使用しないでください。本製品以外で使用した場合、火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルが傷んだら交換してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

## 2 準備

### 2.3 必要なものをそろえる

本装置をお使いいただくために必要なものの説明を下記に訂正します。(P25～P28)

#### 【訂正】

#### 2.3.1 セットアップ端末を本装置の CONSOLE ポートに接続する場合

セットアップ端末を本装置の CONSOLE ポートに接続する場合には、以下の機器をご用意ください。

##### ●セットアップ端末

以下に示す機能をサポートするパーソナルコンピュータまたはワークステーションをご用意ください。

表 2-1 セットアップ端末の仕様（本装置の CONSOLE ポートに接続する場合）

項目	仕様	
通信ポート	RS-232C ポート	
通信ソフト	以下のいずれかの通信ソフトまたはそれに準ずる通信ソフト ・ Windows 2000 または Windows XP 付属のハイパーターミナル ・ Tera Term Pro (Version 2.3)	
通信設定	通信手順	ZMODEM 手順
	通信パラメータ	8 ビット, 1 ストップビット, パリティ無し
	通信速度(注 1)	19200bit/s, 9600bit/s, 4800bit/s, 2400bit/s, 1200bit/s

(注 1) 工場出荷時、本装置の CONSOLE ポートの通信速度は 9600bit/s に設定しています。

##### ●RS-232C クロスケーブル

セットアップ端末を本装置の CONSOLE ポートに接続するには、RS-232C クロスケーブル(両端 D-sub9 ピン(メス)付き)を使用します。このケーブルは、一般の電気店で購入することができます。

RS-232C クロスケーブルのピン配置を以下に示します。

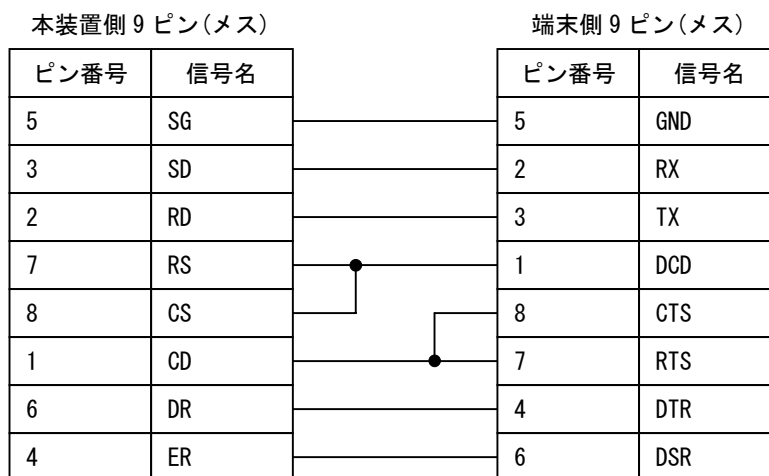


図 2-2 RS-232C クロスケーブルのピン配置

### ●インタフェースケーブル

他の機器との接続にはインタフェースケーブルが必要です。インタフェースケーブルの詳細については、「AX5400S ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

### ●AC200V 電源ケーブル

本装置を AC200V で使用する場合に必要です。

AC200V 電源ケーブルの詳細については、「AX5400S ハードウェア取扱説明書 訂正資料」を参照してください。

### ●DC-48V 電源ケーブル

本装置を DC-48V で使用する場合に必要です。

DC-48V 電源ケーブルの詳細については、「AX5400S ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

## 2.3.2 セットアップ端末を本装置の MAINTENANCE ポートに接続する場合

セットアップ端末を本装置の MAINTENANCE ポートに接続する場合には、以下の機器をご用意ください。

### ●セットアップ端末

以下に示す機能をサポートするパーソナルコンピュータまたはワークステーションをご用意ください。

表 2-3 セットアップ端末の仕様（本装置の MAINTENANCE ポートに接続する場合）

項目	仕様
通信ポート	イーサネット（10BASE-T/100BASE-TX）ポート
通信ソフト	Tera Term Pro（Version 2.3）またはその他の telnet クライアント（注1） ftp クライアント（注1）（注2）
通信手順	telnet, ftp
その他機能	CD-ROM ドライブ（注3）

（注1）Windows 2000, Windows XP, およびそれに準ずる OS は、標準で telnet クライアントおよび ftp クライアントの機能を持っています。

（注2）ソフトウェアおよびダンプファイルの転送に使用します。

（注3）ソフトウェアをインストールする場合に使用します。

### ●10BASE-T/100BASE-TX インタフェースケーブル（クロスケーブル）

セットアップ端末を本装置の MAINTENANCE ポートに直接接続するには、カテゴリ 5 以上の UTP インタフェースケーブル（10BASE-T/100BASE-TX インタフェースケーブル（クロスケーブル））を使用します。このケーブルは、一般の電気店で購入することができます。

本装置の MAINTENANCE ポートのピン配置を以下に示します。

表 2-4 MAINTENANCE ポートのピン配置

ピン番号	仕 様
1	送信（+） (A)
2	送信（-） (a)
3	受信（+） (B)
4	未使用（注 1） (C)
5	未使用（注 1） (c)
6	受信（-） (b)
7	未使用（注 1） (D)
8	未使用（注 1） (d)

（注 1） 100BASE-TX 使用時、ボード内で終端していますので接続が必要です。10BASE-T 使用時は、接続/未接続どちらでも可能です。

（注 2） ツイストペア線であるため、100BASE-TX で使用時、上記ピンアサインで (A) と (a)、(B) と (b)、(C) と (c)、(D) と (d) をペアにしてください。10BASE-T で使用時、上記ピンアサインで (A) と (a)、(B) と (b) をペアにしてください。それ以外のピンはペアを気にせず接続、あるいは未接続、どちらでも構いません。

### ●インタフェースケーブル

他の機器との接続にはインタフェースケーブルが必要です。インタフェースケーブルの詳細については、「AX5400S ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

### ●AC200V 電源ケーブル

本装置を AC200V で使用する場合に必要です。

AC200V 電源ケーブルの詳細については、「AX5400S ハードウェア取扱説明書 訂正資料」を参照してください。

### ●DC-48V 電源ケーブル

本装置を DC-48V で使用する場合に必要です。

DC-48V 電源ケーブルの詳細については、「AX5400S ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

## 3 機器の設置

### 3.1 機器の設置

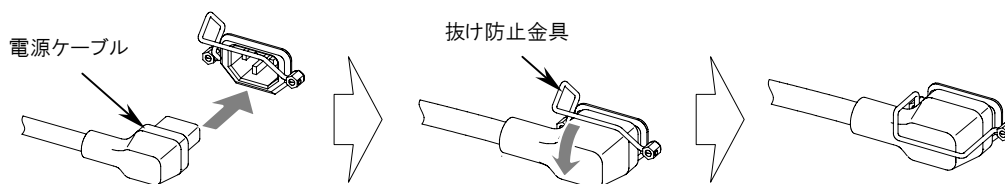
電源ケーブルの取り付け手順の説明を訂正します。(P31, P34, P39, P42)

#### 【訂正】

#### 手順 1. 電源ケーブルの取り付け

##### ・ AC 電源機構を搭載している場合

本装置のすべての電源機構 (PS) に電源ケーブルを取り付けます。



⚠警告 感電防止のため、接地付きコンセントを使用してください。

⚠警告 本装置を AC100V で使用する場合、電源ケーブルは付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。

NOTE 本装置を AC200V で使用する場合、電源ケーブルは弊社指定のもので、お客様で準備していただいたものを使用してください。なお、AC200V 電源ケーブルの詳細については「AX5400S ハードウェア取扱説明書 訂正資料」を参照してください。

NOTE お客様で電源ケーブルをご用意いただいている場合、抜け防止金具でコネクタを固定できないことがあります。その場合は、抜け防止金具を取り外して電源ケーブルを取り付け、ラックのケーブルサポート等でケーブル部を固定してください。また、取り外した抜け防止金具は大切に保管してください。

NOTE 電源ケーブルを取り付ける前に、本装置の電源スイッチがすべて OFF になっていることを確認してください。

##### ・ DC 電源機構を搭載している場合

本装置のすべての電源機構 (PS) に電源ケーブルを取り付けます。

DC 電源機構を搭載している場合は DC 電源ケーブルを使用します。DC 電源ケーブルの取り付けについては、「AX5400S ハードウェア取扱説明書」を参照してください。